

## 第2回「地域のニーズに応じたバス・タクシーに係るバリアフリー車両の開発」 検討会議事概要

### 1. 日時

平成20年11月11日（火）10:00～12:00

### 2. 場所

国土交通省10階B会議室

### 3. 出席者

鎌田実（委員長）、川内美彦、溝端光雄、大野寛之、森祐司、今福義明、秋山利裕、川村泰利、富田征弘、時枝悦郎、飯田光也、岡野俊豪、本多通弘、月見里三津夫、仲條直樹、中原康夫、八尾健之、福元聡、森下憲樹（代理 駒形洋介）、奥田哲也（代理 黒須卓）、清谷伸吾（代理 鈴木延昌）、後藤浩平

敬称略順不同

### 4. 議事概要

鎌田委員長の挨拶の後、以下の項目について報告及び議論がなされた。

(1) 検討体制の説明（資料1）

(2) 前回議事録の確認（資料3）

前回議事録について、特段意見無く了承された。

(3) 全体スケジュールの確認（資料4）

(4) アンケート及びヒアリング調査概要の報告（資料5a及び5b）

事務局よりアンケート及びヒアリング調査概要について報告がなされた。これに対し、事業者へのヒアリングに加え、必要に応じて移動サービス（NPO）に対しても利用実態に関するヒアリングを行う方がよいとの意見があった。

(5) バスの検討内容の報告（資料6～9）

路線バスの検討内容に関し、事務局よりバスWGの作業及び今後の検討の流れ（資料6）、アンケート及びヒアリング調査結果の概要（資料7a及び7b）、路線バス車内実態調査結果（資料8）、今後の検討課題（資料9）について報告し、これまでの検討状況及び今後の作業方針について了承された。なお、委員から主に以下の発言があった。

- ・ 車いすスペースの法的な扱い、座席の色の追加、標準仕様の見直し、全長のより長い車両の導入、小型バスと乗合タクシーの中間クラスであるコースタークラス（マイクロバス）のバリアフリー化について今後検討することが望ましい。

- ・ 通路幅やつかまり棒のレイアウトを考慮しつつ、車いす・電動車いすの乗降の動線を短くするよう車いすスペースについて検討することが望ましい。
- ・ 改良仕様についてバス協会において意見を集約しておく。

#### (6) 乗合タクシーおよび一般タクシーのUD化の検討内容の報告

タクシー作業部会の作業及び今後の検討内容（資料 10）を報告。続けて乗合タクシー、一般タクシーのUD化に分けて報告及び議論が行われた。

##### ① 乗合タクシー（ハイエース・キャラバンクラス）

アンケート及びヒアリング調査結果の概要（資料 11）、乗合タクシーの改造イメージ案（資料 12a）及び仕様（資料 12b）について報告し、これまでの検討状況及び今後の作業方針について、車両試作を含め了承された。なお、委員より主に以下の発言があった。

- ・ 対象となる車いすは、コンピュータークラスではメーカー標準のリフトに乗るサイズを想定しているが、固定の問題を含めどこまでのサイズにするのか今後議論する機会を設けることが望ましい。

##### ② 一般タクシーのUD（ユニバーサルデザイン）化

アンケート及びヒアリング調査結果概要（資料 13）及び一般UDタクシー開発に向けた課題整理（資料 14）を報告し、これまでの検討状況及び今後の作業方針について了承された。なお、委員より主に以下の発言があった。

- ・ 室内高の寸法、車高とタクシーと分かるデザインとのバランス、スロープ板の基準の見直し、乗降位置を横とするか後とするか等について、価格面を考慮し、また海外事例を参考にしつつ今後検討することが望ましい。
- ・ 一般UDタクシーに乗れなくてもワンボックスタクシーを用意するという対応もあり、全てのサイズの車いすに対応する必要はないとの意見があった。

#### (7) 総括

鎌田委員長より総括がなされた。

以上